

シアン対応マニュアル

| | | | | |
|----------------|--|---|--|----------|
| 病院 | 第一報受信 患者到着 除染 救命措置 鑑別診断* | 重症度判定 重症：意識障害、痙攣、呼吸障害、循環不全 中等症：バイタルサイン安定、嘔気・嘔吐、頭痛、呼吸困難 軽症：皮膚紅潮 | 治療 呼吸循環管理 解毒剤の投与（重症の場合）： 亜硝酸アミル吸入、亜硝酸ナトリウム静注、チオ硫酸ナトリウム静注 または ヒドロキシコバラミン静注 痙攣：ジアゼパム投与 アシドーシス、不整脈、血圧低下対策 肺水腫の監視 症状消失まで入院経過観察 | |
| | 患者名簿作成 検査：血液ガス分析、分析用検体（血液・尿・吐物等）採取・提出（琉球大学等へ） 解毒剤準備開始 院内緊急連絡（応援スタッフ）（各部署） | ベッド確保 対策本部へ経過報告（随時） （ICU、経過観察用）（発生状況、症状・重症度、患者再搬送等） | 分析結果入手（治療法の再検討） | |
| 中毒派遣医 | 助言・相談 / 簡易分析結果の検討 / 治療マニュアル各部署へ 対策本部へ状況報告（随時） | 治療（必要な場合） | 分析結果の検討・助言 | 中長期的経過観察 |
| 日本中毒情報センター対策本部 | 起因物質の検討（中毒君、DB等） 推定原因物質連絡 / 治療マニュアルの配布 他機関より検知結果入手し中毒臨床医へ連絡 検知結果により治療マニュアルの追加送付 | 病院の状況確認（随時） 解毒剤再配備（必要に応じて） | 分析結果入手し中毒臨床医へ連絡 分析結果により治療マニュアルの追加送付 | |
| 備考 | 二次汚染予防 保護具レベルD着用 シアン化水素は空気より軽い 患者衣類・吐物等密閉 | *神経剤、びらん剤、血液剤、窒息剤、催涙剤等の鑑別（別紙） *簡易分析（血中シアン検知管法） | | |